



平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場会社名 株式会社ダイイチ
コード番号 7643 URL <http://www.daiichi-d.co.jp/>

上場取引所 大 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 達雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画IR兼経理担当 (氏名) 川瀬 豊秋

TEL 0155-38-3456

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	23,649	6.0	601	6.6	559	8.2	330	24.2
23年9月期第3四半期	22,304	2.8	564	8.5	517	9.2	266	△20.9

(注) 包括利益 24年9月期第3四半期 322百万円 (20.8%) 23年9月期第3四半期 267百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	82.74	—
23年9月期第3四半期	66.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第3四半期	14,738	5,418	36.8	1,355.44
23年9月期	14,559	5,155	35.4	1,289.66

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 5,418百万円 23年9月期 5,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,646	5.9	737	2.9	665	1.5	365	7.8	91.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年9月期3Q	4,003,320 株	23年9月期	4,003,320 株
② 期末自己株式数	24年9月期3Q	5,829 株	23年9月期	5,829 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年9月期3Q	3,997,491 株	23年9月期3Q	3,997,531 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年10月1日～平成24年6月30日）におけるわが国経済は、昨年末にかけての足踏み状態から年明け後、欧州債務問題などで世界経済の減速懸念があったものの、東日本大震災からの復興需要、エコカー補助金の効果、原油価格の下落や円高の一服などにより、景気は緩やかな回復軌道にありました。

当社グループ（当社及び連結子会社）を取り巻くスーパーマーケット業界は、家庭内で食事をする「内食」傾向の定着などの追い風があったものの、業種の垣根を越えた企業間競争の激化、消費者の低価格志向に加え、限られた所得の中で支出を選別する傾向が強まり、引き続き厳しい経営環境にありました。

このような経営環境のもとで当社グループは、食品を中心とした地域密着のスーパーマーケットとして、安心して安全な商品を提供し続けることで、お客様からの高い支持と信頼をいただけるよう取り組むとともに、店舗オペレーションの改善による販売力強化、商品開発による商品力強化、新店の早期安定と既存店のリニューアル推進、従業員教育の充実によるサービスレベルの向上など、スピードを上げて着実に進めてまいりました。

新規出店につきましては、昨年12月に札幌ブロック3店目、札幌市西区2店目となる「発寒中央駅前店（売場面積1,762㎡、駐車台数238台）」を開店し、西区において「八軒店」と連携し、お客様の買い物環境の充実と満足度の向上に努めております。

システム投資につきましては、発注精度の向上による売上機会ロス、値引き・廃棄ロスの削減を目的に、E O B（Electric Order Book（電子発注台帳））システムを導入、また販売実績を迅速かつ様々な角度から分析し、販売戦略の更なる強化のため、商品分析システムを更新いたしました。

地域別売上高につきましては、帯広ブロックは109億46百万円（前年同期比1.1%増）、旭川ブロックは82億83百万円（前年同期比3.3%増）、札幌ブロックは44億11百万円（前年同期比27.9%増）となりました。また、既存店売上高につきましては、商品力の強化や販売力の強化などにより、前年同期比1.9%増と堅調に推移いたしました。

売上総利益率につきましては、前年に引き続き、仕入の強化と人材育成、販売計画の見直しなどを行い、販売価格が低下傾向にある中で前年同四半期率を維持し23.0%となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、前年同期に比べ2億90百万円増加いたしました。売上高に対する比率は22.1%となり、前年同期と同様になりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は236億49百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は「発寒中央駅前店」の開店に伴う一時費用31百万円の発生があったものの売上総利益の増加により6億1百万円（前年同期比6.6%増）、経常利益は5億59百万円（前年同期比8.2%増）と増収増益となりました。四半期純利益は前年同四半期に「資産除去債務に関する会計基準等」の適用による、会計基準変更時差異を特別損失に計上いたしました。当四半期においては発生しなかったため、3億30百万円（前年同期比24.2%増）の大幅な増加となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比べ1億79百万円増加の147億38百万円となりました。流動資産においては、主に現金及び預金の増加1億10百万円及び商品及び製品の増加96百万円等に対し、その他の減少75百万円等により前連結会計年度末に比べ1億60百万円増加の23億75百万円となりました。固定資産においては、投資その他の資産のその他の増加1億43百万円、敷金及び保証金の増加1億36百万円及び有形固定資産のその他の増加52百万円等に対し、土地の減少1億78百万円及び建物の減少1億34百万円等により、前連結会計年度末に比べ18百万円増加の123億63百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ83百万円減少の93億20百万円となりました。流動負債においては、主に買掛金の増加2億87百万円等に対し、未払法人税等の減少1億58百万円及びその他の減少63百万円等により、前連結会計年度末に比べ83百万円増加の41億71百万円となりました。固定負債においては、その他の増加67百万円等に対し、長期借入金の減少2億59百万円により、前連結会計年度末に比べ1億67百万円減少の51億48百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億62百万円増加の54億18百万円となりました。これは主に、利益剰余金2億70百万円の増加によるものです。この結果、自己資本比率は36.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年11月4日の「平成23年9月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	855,024	965,735
売掛金	132,783	161,408
商品及び製品	856,707	953,332
原材料及び貯蔵品	3,556	3,541
その他	368,568	292,768
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	2,215,140	2,375,285
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,216,338	4,081,702
土地	6,031,956	5,853,504
その他（純額）	682,600	734,778
有形固定資産合計	10,930,896	10,669,986
無形固定資産		
その他	26,938	26,938
無形固定資産合計	26,938	26,938
投資その他の資産		
敷金及び保証金	605,815	742,286
その他	780,864	924,244
投資その他の資産合計	1,386,680	1,666,530
固定資産合計	12,344,514	12,363,454
資産合計	14,559,655	14,738,740
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,694,790	1,982,502
短期借入金	200,000	155,000
1年内返済予定の長期借入金	822,133	869,918
未払法人税等	244,898	85,951
賞与引当金	168,511	183,592
その他	958,080	894,800
流動負債合計	4,088,413	4,171,764
固定負債		
長期借入金	3,866,748	3,607,514
退職給付引当金	475,840	490,282
役員退職慰労引当金	154,182	163,693
資産除去債務	15,181	15,328
その他	803,892	871,818
固定負債合計	5,315,844	5,148,636
負債合計	9,404,258	9,320,400

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	840,455	840,455
資本剰余金	767,302	767,302
利益剰余金	3,548,290	3,819,071
自己株式	△2,748	△2,748
株主資本合計	5,153,299	5,424,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,097	△5,740
その他の包括利益累計額合計	2,097	△5,740
純資産合計	5,155,397	5,418,339
負債純資産合計	14,559,655	14,738,740

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 3 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年10月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年10月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	22,304,541	23,649,595
売上原価	17,173,863	18,200,882
売上総利益	5,130,677	5,448,713
営業収入	366,309	375,828
営業総利益	5,496,987	5,824,541
販売費及び一般管理費	4,932,377	5,222,876
営業利益	564,610	601,665
営業外収益		
受取利息	7,037	8,022
受取配当金	4,125	4,175
その他	5,448	5,824
営業外収益合計	16,610	18,021
営業外費用		
支払利息	63,075	59,248
その他	812	784
営業外費用合計	63,887	60,032
経常利益	517,333	559,654
特別利益		
固定資産売却益	—	5,530
保険解約返戻金	13,119	—
特別利益合計	13,119	5,530
特別損失		
固定資産除却損	4,238	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	60,341	—
特別損失合計	64,580	—
税金等調整前四半期純利益	465,871	565,184
法人税、住民税及び事業税	227,236	231,162
法人税等調整額	△27,571	3,278
法人税等合計	199,665	234,441
少数株主損益調整前四半期純利益	266,206	330,743
四半期純利益	266,206	330,743

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	266,206	330,743
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	1,063	△7,838
その他の包括利益合計	1,063	△7,838
四半期包括利益	267,269	322,904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	267,269	322,904
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

当社グループ（当社及び連結子会社）は、食料品主体のスーパーマーケット事業及びこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。